

食通

太宰治

青空文庫

食通というのは、大食いの事をいうのだと聞いている。私は、いまはそうでも無いけれども、かつて、非常な大食いであつた。その時期には、私は自分を非常な食通だとばかり思つていた。友人の檀一雄などに、食通というのは、大食いの事をいうのだと真面目な顔をして教えて、おでんや等で、豆腐、がんもどき、大根、また豆腐というような順序で際限も無く食べて見せると、檀君は眼を丸くして、君は余程の食通だねえ、と言つて感服したものであつた。伊馬鶉平君にも、私はその食通の定義を教えたのであるが、伊馬君は、みるみる喜色を満面に湛え、ことによると、僕も食通かも知れぬ、と言つた。伊馬君とそれから五、六回、一緒に

飲食したが、果して、まぎれもない大食通であった。

安くておいしいものを、たくさん食べられたら、これに越した事はないじゃないか。当り前の話だ。すなわち食通の奥義である。いつか新橋のおでんやで、若い男が、海老えびの鬼がら焼きを、箸はしで器用に剥むいて、おかみに褒ほめられ、てれるどころかいよいよ澄まして、またもや一つ、つるりとむいたが、実にみつともなかつた。非常に馬鹿に見えた。手で剥いたって、いいじゃないか。口シヤでは、ライスカレーでも、手で食べるそうだ。

青空文庫情報

底本：「太宰治全集10」ちくま文庫、筑摩書房

1989（平成1）年6月27日第1刷発行

底本の親本：「筑摩全集類聚版太宰治全集第十卷」筑摩書房

1977（昭和52）年2月25日初版第1刷発行

初出：「博浪沙 第七卷第一号」

1942（昭和17）年1月5日発行

入力：土屋隆

校正：noriko saito

2005年3月17日作成

2016年7月12日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

食通

太宰治

2020年 7月12日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>